

株式
会社 **エー・アンド・ティ**
(証券コード：7745 東証1部)

AND
Discover Precision

2021年3月期 決算説明会資料

2021年5月28日



Bluetooth®内蔵
上腕式ホースレス血圧計
UA-1200BLE

- 1. 2021年3月期業績の総括**
- 2. 2022年3月期の業績予想**
- 3. 2022年3月期重点課題**

1. 2021年3月期業績の総括

2021年3月期業績ハイライト



売上高はほぼ前年並み、営業利益は前年度に引続き続伸

売上高：前年同期比 98.4%

営業利益：前年同期比 119.0%

■要因

- **計測・計量機器事業：需要の低迷・設備投資の先送り等から減収減益**
- **医療・健康機器事業：健康機器が大幅増、医療機器も回復し業績を牽引**
- **原価改善・販管費削減活動により売上原価・販管費とも前年同期比減
売上高は減少するも営業利益増**

2021年3月期業績の概況



売上高はほぼ前年並み、原価・販管費削減で各段階利益は続伸

(単位：百万円)

連 結 損 益	2020/3期 (実績)	2021/3期 (実績)	前年同期比	2021/3期 修正後予想	達成率 (修正後予想比)
売 上 高	49,197	48,424	98.4%	48,000	100.9%
売 上 原 価	27,411	26,787	97.7%	26,466	101.2%
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	18,085	17,232	95.3%	17,034	101.2%
営 業 利 益	3,700	4,404	119.0%	4,500	97.9%
経 常 利 益	3,432	4,564	133.0%	4,520	101.0%
税 引 き 前 利 益	3,423	4,536	132.5%	4,520	100.4%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,576	3,339	211.8%	3,080	108.4%
1 株 あ た り 当期純利益 (円)	76.88	161.87	211.8%	149.31	108.4%

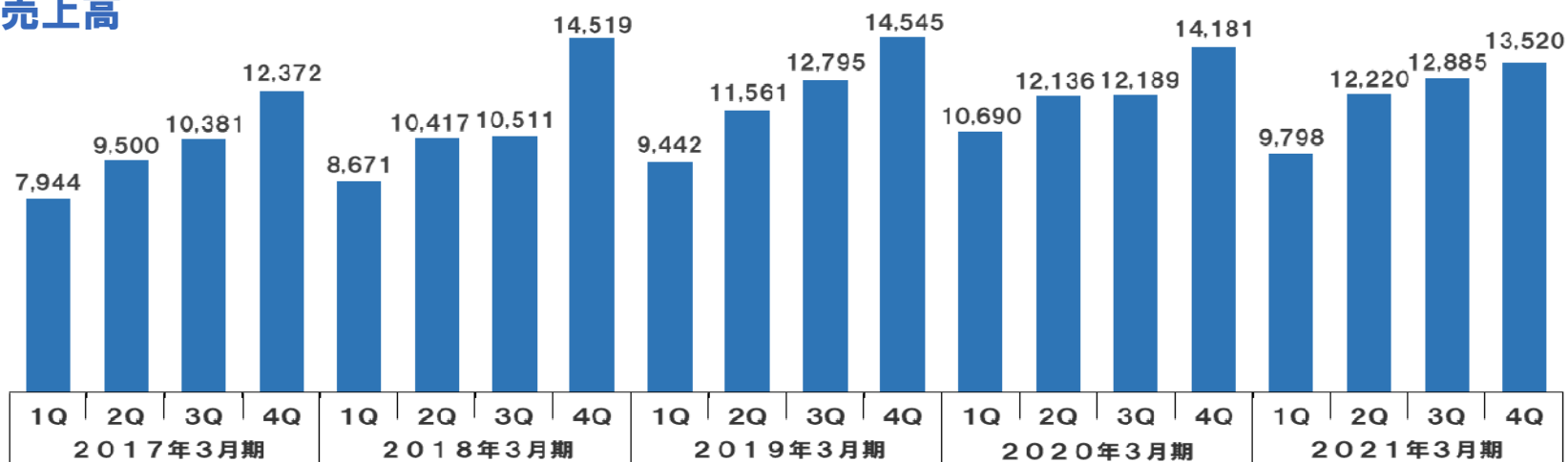
四半期別売上高および営業利益の推移



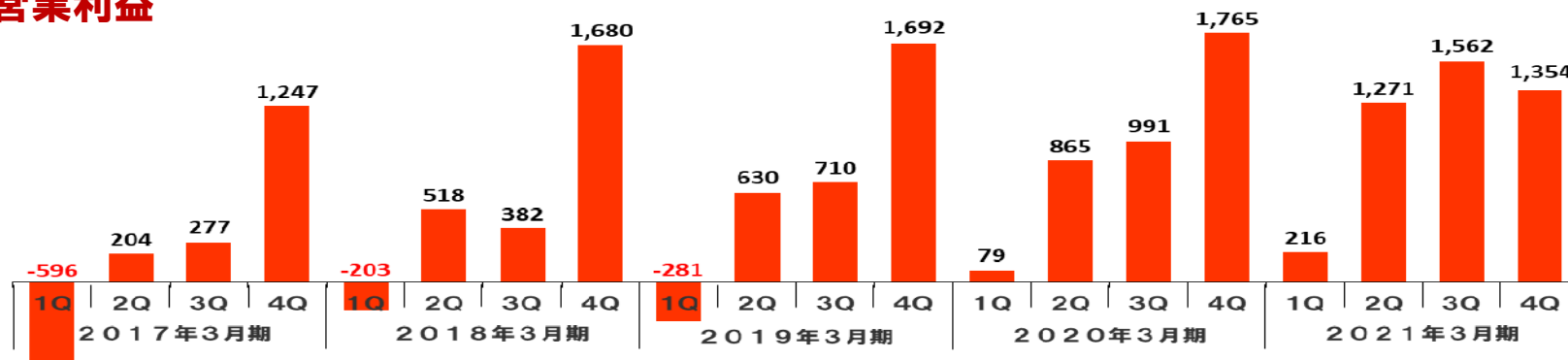
売上高は四半期の差が縮小、営業利益は2期連続で各期黒字化

(単位：百万円)

売上高



営業利益

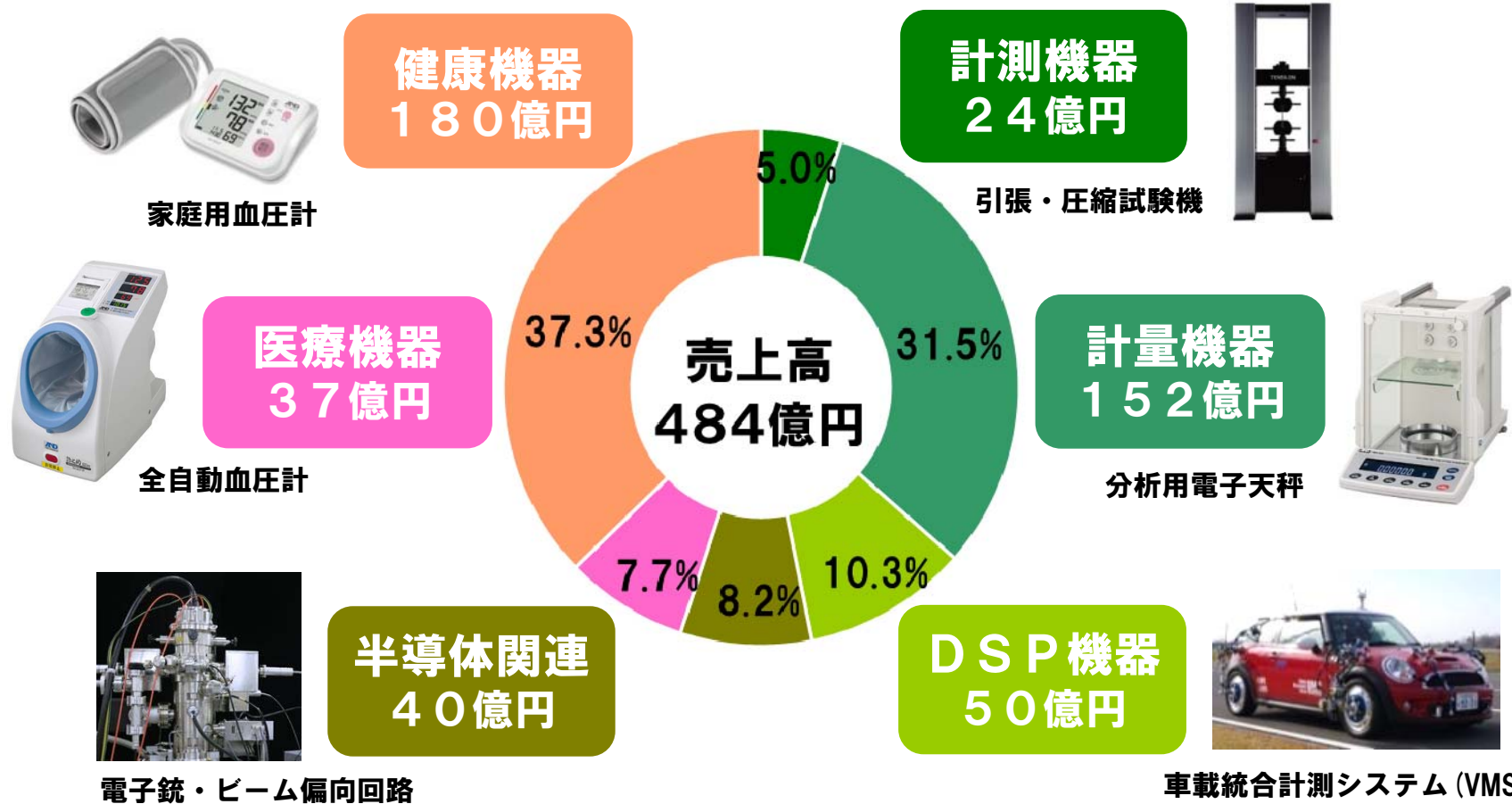


2021年3月期事業別売上実績



医療・健康機器事業

計測・計量機器事業



※DSP：計測・制御・シミュレーションシステム

セグメント別業績の概要



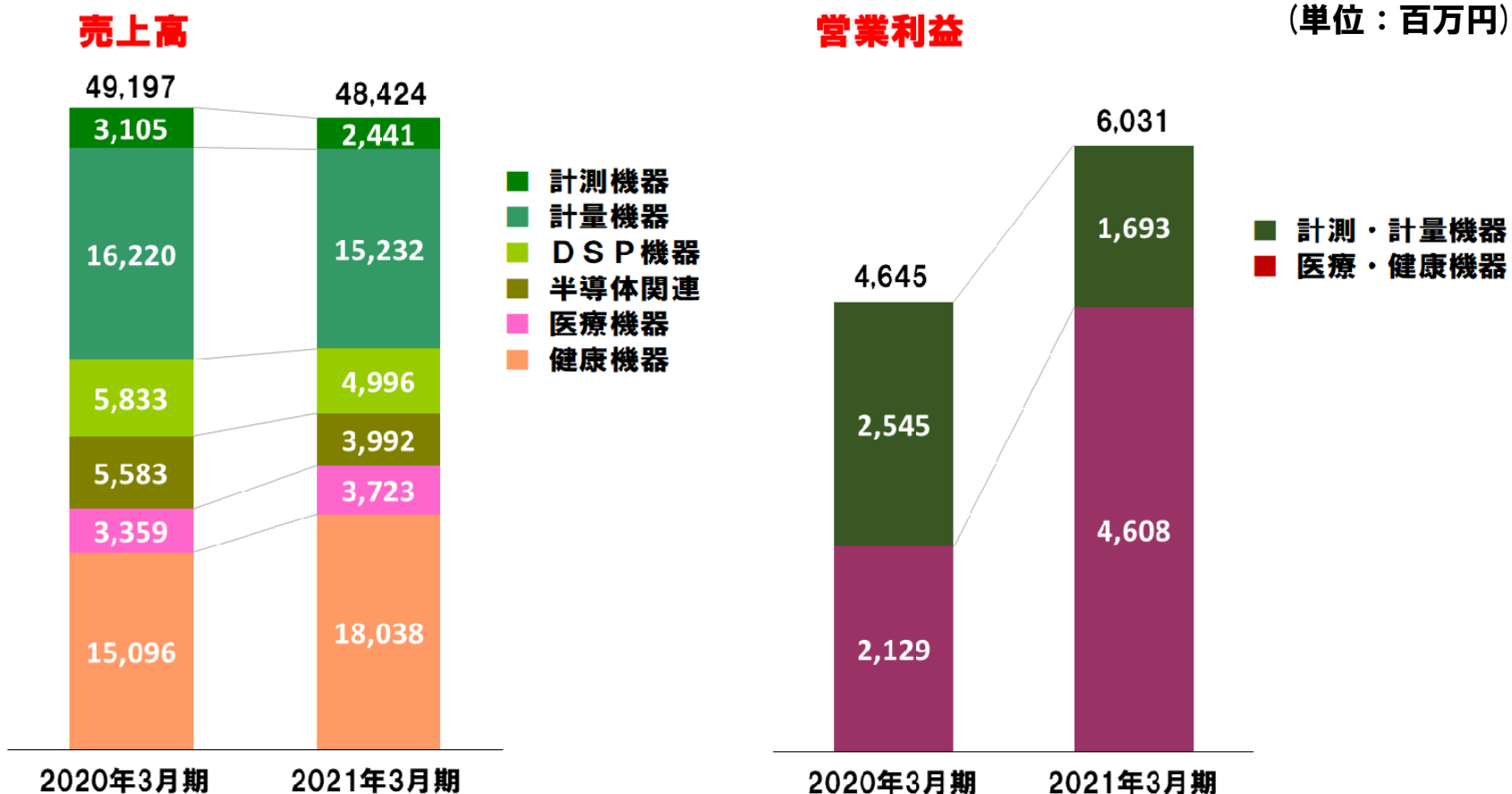
(単位：百万円)

連 結 損 益	2020/3期 累計(実績)	2021/3期 累計(実績)	前年同期比	2021/3期 修正予想	達成率 (対修正予想)
売 上 高	49,197	48,424	98.4%	48,000	100.9%
計測・計量機器	30,742	26,662	86.7%	26,700	99.9%
医療・健康機器	18,455	21,762	117.9%	21,300	102.2%
売 上 原 価	27,411	26,787	97.7%	26,466	101.2%
計測・計量機器	17,650	14,814	83.9%	14,987	98.8%
医療・健康機器	10,207	11,574	113.4%	11,201	103.3%
販 管 費	18,085	17,232	95.3%	17,034	101.2%
計測・計量機器	10,546	10,154	96.3%	9,973	101.8%
医療・健康機器	6,118	5,579	91.2%	5,589	99.8%
営 業 利 益	3,700	4,404	119.0%	4,500	97.9%
計測・計量機器	2,545	1,693	66.5%	1,740	97.3%
医療・健康機器	2,129	4,608	216.4%	4,510	102.2%
全 社 / 消 去	△ 974	△ 1,897	----	△ 1,750	----

事業別実績



医療・健康機器事業は好調維持、営業利益対前年比増を牽引



注) DSP:計測・制御・シミュレーションシステム

注) セグメント利益調整前

事業別動向

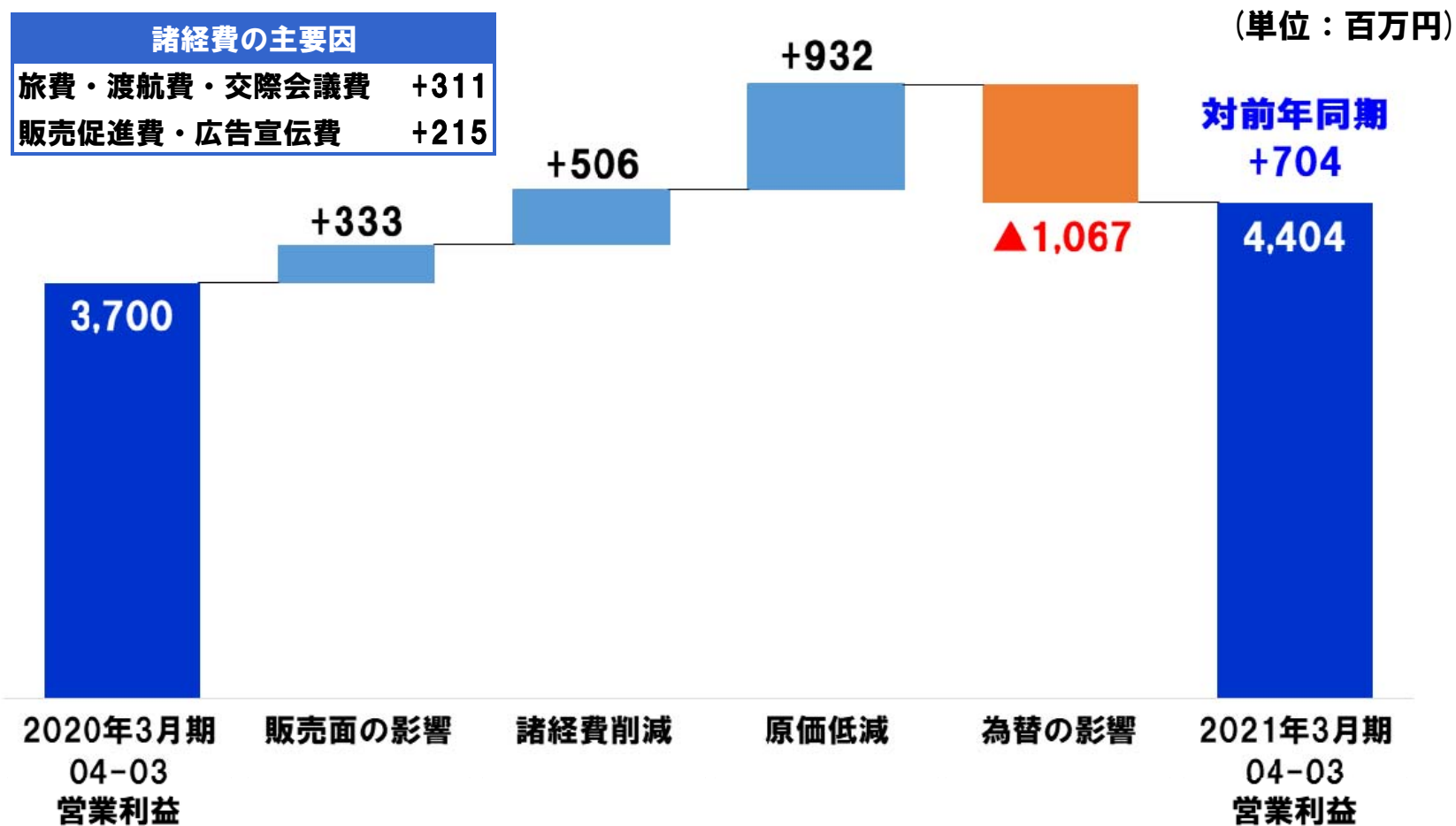


計測・計量機器	計測機器	需要の低迷・設備投資先送りのなか売上は前年同期比減少したものの、豪州では計量機器全般売上増、韓国・インドにおいても経済活動と同調して回復基調
	計量機器	前年度連結子会社化した台湾子会社の売上も寄与
	DSP機器	受注活動が依然制約を受ける状況下、売上は不調に終るも受注は下期から回復基調 EV関連の引合も増加、引続き受注獲得へ注力
	半導体関連	半導体メーカーの検査装置への設備投資一巡の様相 計画通りの売上獲得も減収となる
医療・健康機器	医療機器	医療機関等の逼迫した状況から苦戦を強いられていたが徐々に回復、売上は前年を上回り着地
	健康機器	日本・米州・欧州で健康機器が好調維持 日本では非接触型体温計、米州では遠隔医療需要から通信機能付き機器の需要が増加、欧州ではeコマースルートの伸長継続

営業利益増減要因（前年同期比）



原価低減および販管費削減により営業利益は続伸

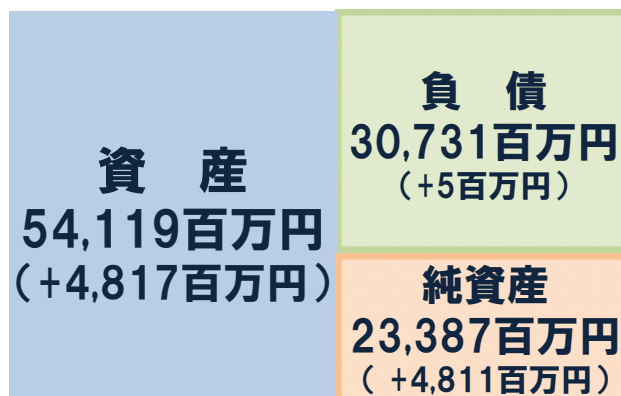


財務分析（貸借対照表）



財務状況

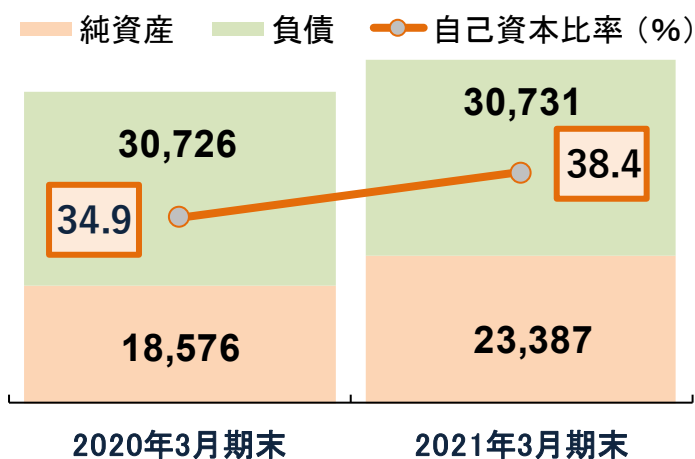
2021/3末 ※()内は2020/3期末比



(単位:百万円)	2020/3末	2021/3末
流動資産	36,269	40,028
固定資産	13,033	14,091
資産合計	49,302	54,119
流動負債	23,869	24,588
固定負債	6,857	6,143
負債合計	30,726	30,731
純資産合計	18,576	23,387

負債・純資産・自己資本比率

(単位:百万円)



現金及び預金の増加 +33.6億円
 土地及び建設仮勘定の増加 +12.3億円

短期借入金の増加 +2.4億円
 未払い法人税等の増加 +3.8億円

株主資本の増加 +28.9億円
 非支配株主持分 +12.5億円

財務分析（キャッシュフロー）



税金等調整前当期純利益の増加等により、期末現預金残高は増加

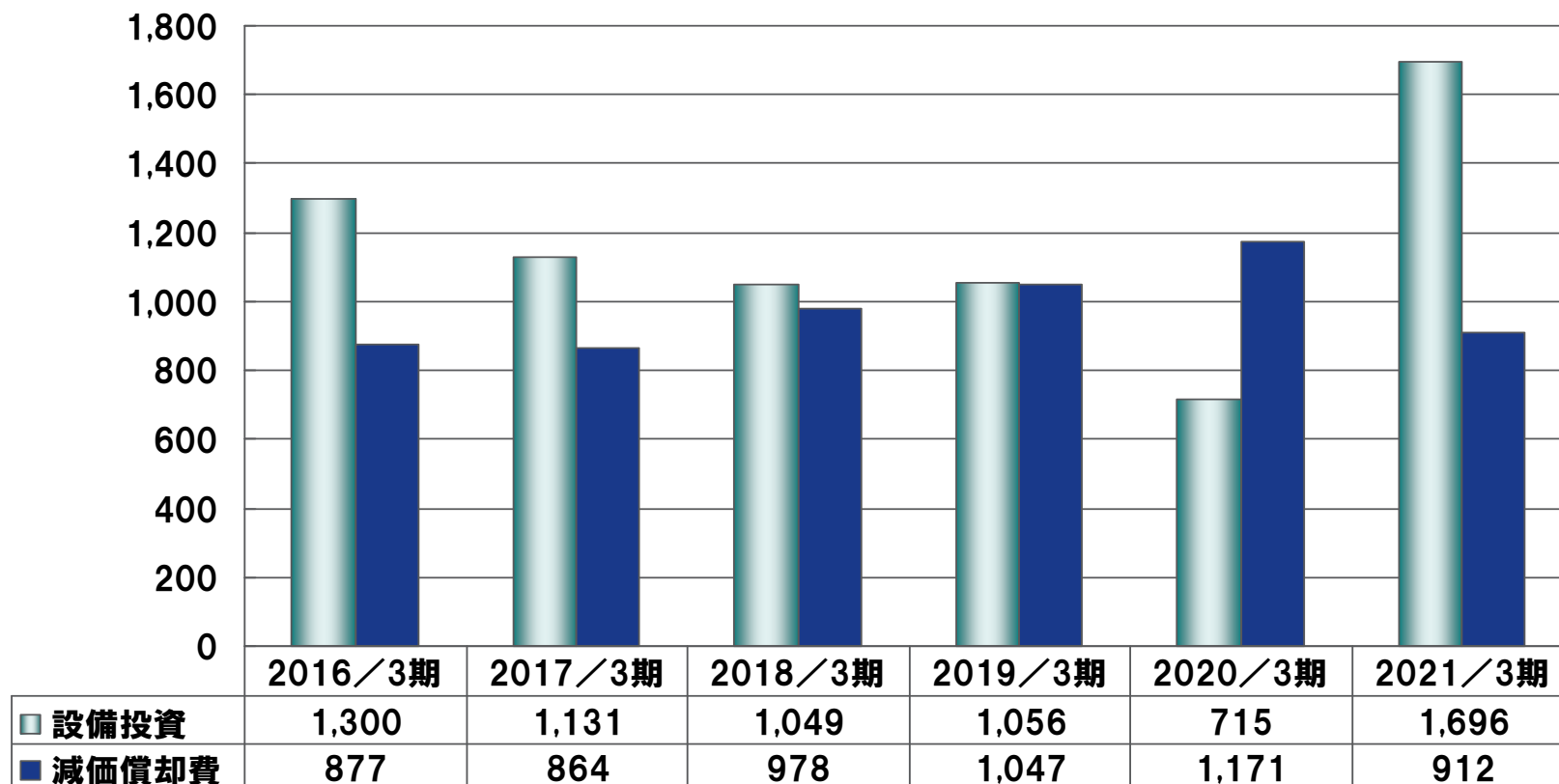
(単位:百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	
営業活動によるCF	4,309	5,194	税金等調整前当期純利益 4,536百万円 減価償却費 1,615百万円 法人税等の支払額 △1,089百万円
投資活動によるCF	△1,100	△2,222	有形固定資産の取得による支出△1,645百万円 無形固定資産の取得による支出 △507百万円
財務活動によるCF	△1,308	△257	長期借入れによる収入 2,811百万円 非支配株主からの 払い込みによる収入 1,021百万円 長期借入金の返済による支出 △3,488百万円
期末現金残高	9,105	12,129	

設備投資・減価償却費の推移



(単位：百万円)



注) 上記、設備投資額及び減価償却費は有形固定資産に対するもののみ集計しております

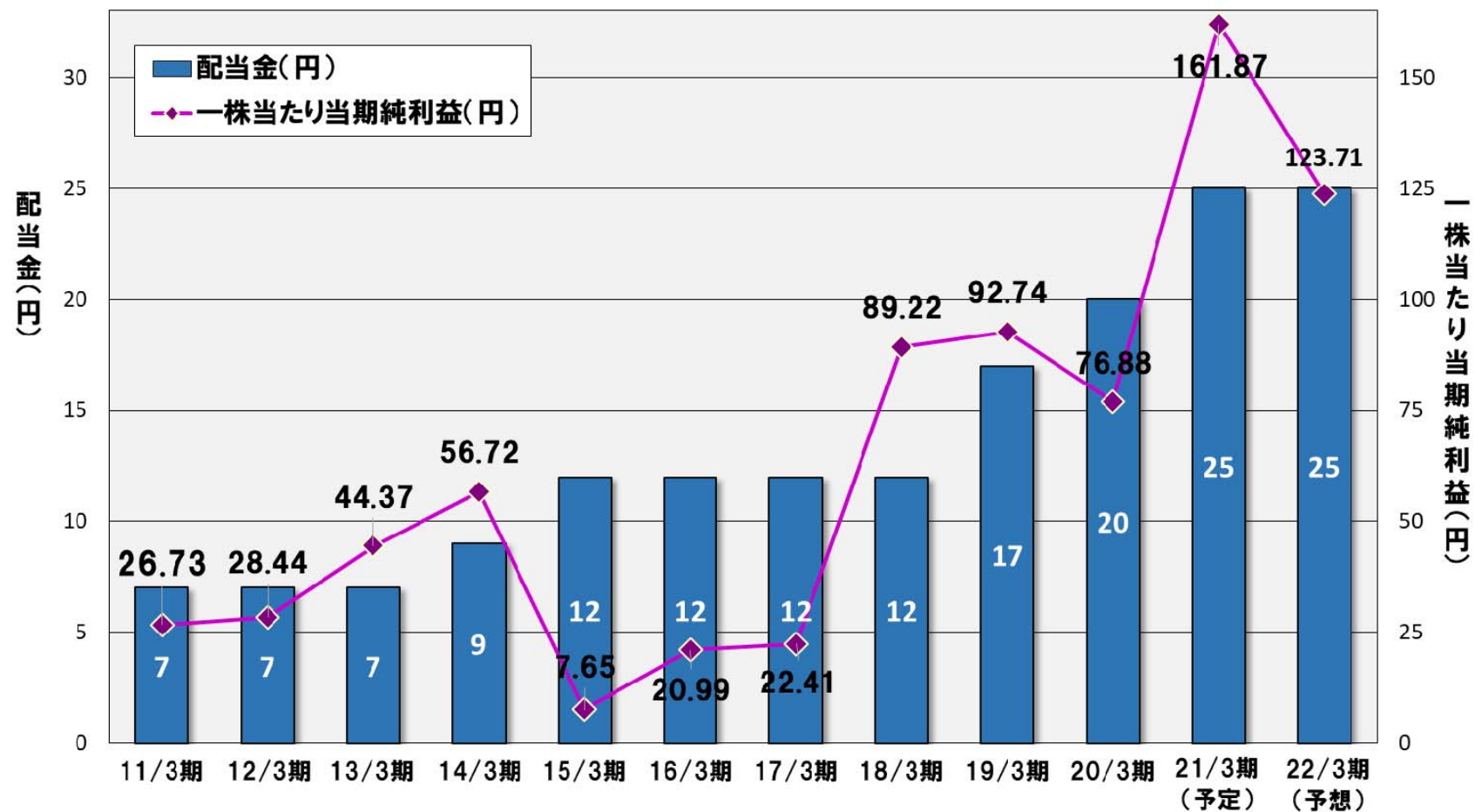
2016年3月期はベトナム工場新設のため、

2021年3月期は連結子会社ホロンの新本社工場建設のため設備投資が増加。

株主還元



2021年3月期年間配当は前年度から5円増配の25円を予定



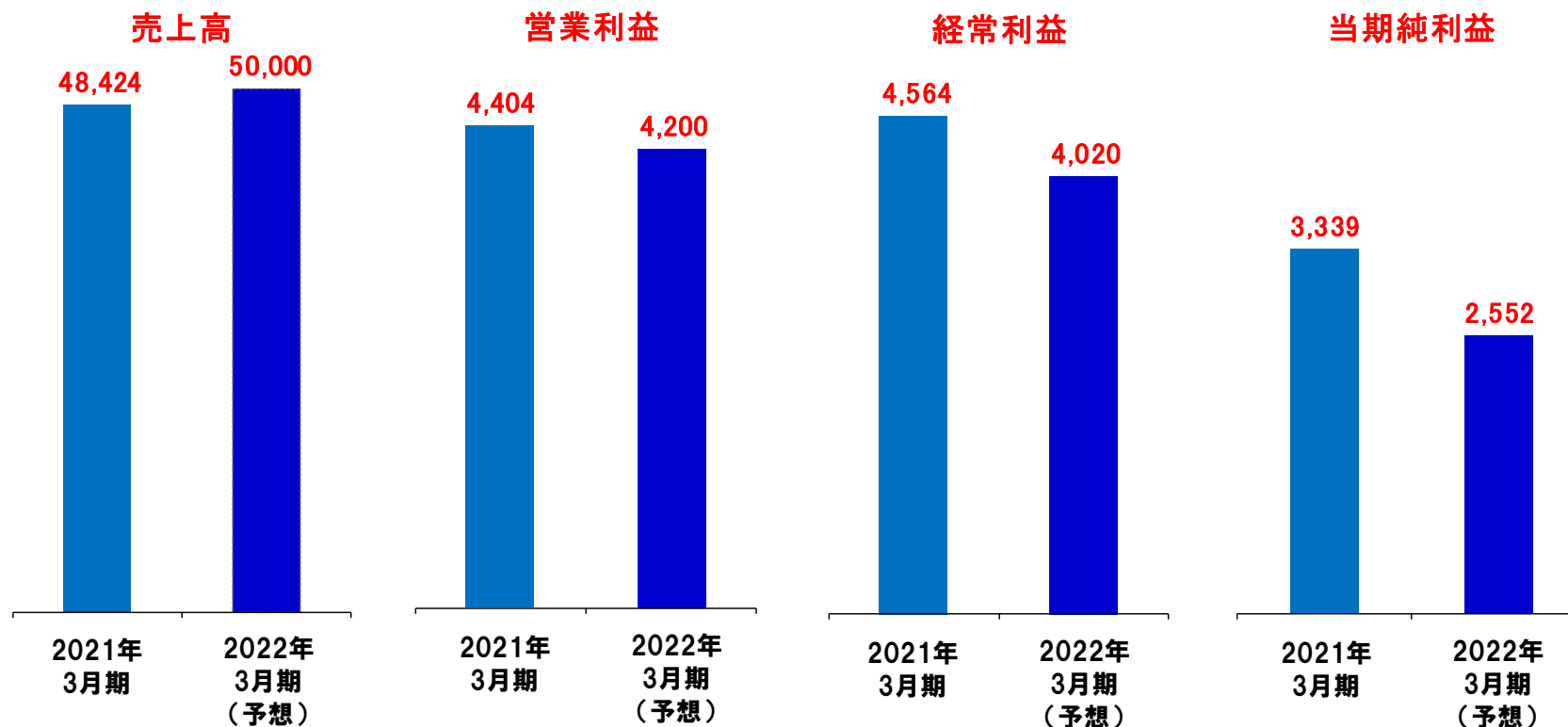
2. 2022年3月期業績予想

2022年3月期業績予想 ①



- EV・CASE対応へグループ間連携の強化と遠隔医療・リモート診断に対応する製品とアプリケーションの拡充
- 利益面は、半導体等の材料価格の高騰と活動規制緩和に伴う販管費の戻りから前期比減を見込む

(単位：百万円)



2022年3月期業績予想 ②



(単位：百万円)

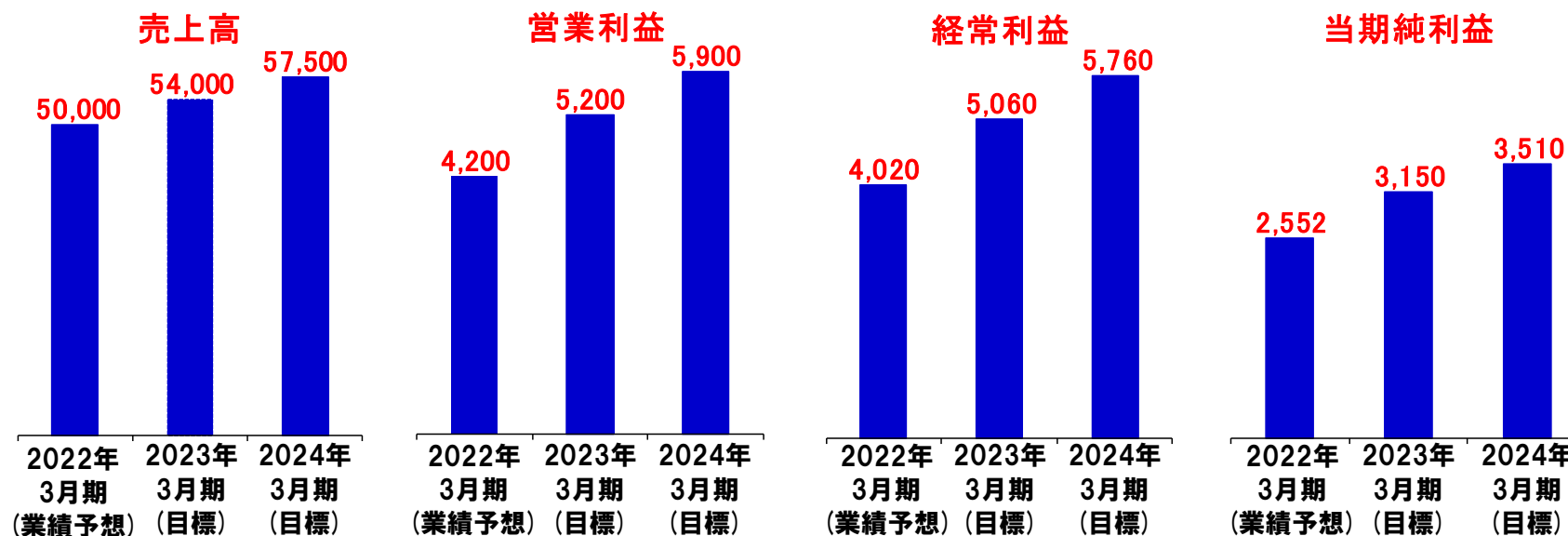
連 結 損 益	2021/3期 (実績)	2022/3期 (予想)	増減額	増減率
売 上 高	48,424	50,000	1,575	3.3%
売 上 原 価	26,787	28,206	1,418	5.3%
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	17,232	17,593	361	2.1%
営 業 利 益	4,404	4,200	-204	△4.6%
経 常 利 益	4,564	4,020	-544	△11.9%
税 引 き 前 利 益	4,536	4,020	-516	△11.4%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,339	2,552	-787	△23.6%
1 株 あ た り 当 期 純 利 益 (円)	161.87	123.71	-38.16	△23.6%

想定為替レート：1ドル=105円 1ルーブル=1.4円 1元=16円

中期経営計画 数値目標



(単位：百万円)



	2021年3月期 実績	2022年3月期 業績予想	2023年3月期 目標	2024年3月期 目標
売上高	48,424	50,000	54,000	57,500
営業利益	4,404	4,200	5,200	5,900
経常利益	4,564	4,020	5,060	5,760
親会社株主に帰属する当期純利益	3,339	2,552	3,150	3,510
売上高営業利益率(%)	9.1%	8.4%	9.6%	10.3%

* 当社では経営環境の変化等に対応するため、毎年度中期経営計画を改定するローリング方式を採用しております。

3. 2022年3月期重点課題

アフターコロナに向けて



社会的価値観と産業構造の変化を好機と捉え経営体質を強化



最大効率を引出す仕組み創り

DXの推進による効率改善と収益力強化

事業環境の変化を掴み更なる成長へ挑戦

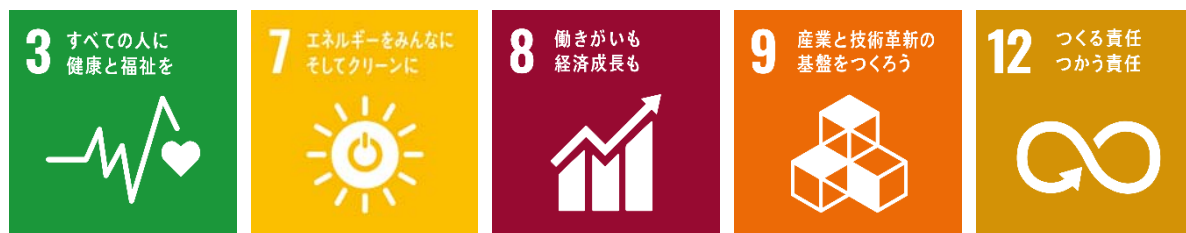
カーボンニュートラルの実現と社会のデジタル化 変化への対応と社会的課題解決への貢献

- **ICT対応製品とアプリケーションを拡充し遠隔医療・リモート診断の体制構築へ寄与することにより健康長寿社会の実現に貢献**
- **リモートワーク・Web会議、5Gの普及とAI・IOT対応等から求められる半導体の更なる微細化実現に対応する機器の供給を通じ、進化するデジタル社会に貢献**
- **自動車関連業界向けシミュレーションツール・開発ツールの性能・ラインナップの充実を通じて加速するEV化に寄与することによりカーボンニュートラルの実現に貢献**

中長期での価値創出（サステナビリティ）へ向けて

- 新しい価値の創出を支援することで産業の発展と健康な生活に貢献

- 関連するSDGs



<実践例>

- 健康経営への取組
昨年度に引続き「健康経営優良法人2021」の認定取得
- 梱包材の脱プラスチック化
電子天秤の梱包材をプラスチックからダンボールに変更
環境にやさしい素材の採用を全社的に展開予定



ご注意

本資料に含まれる予想に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本及び世界の経済動向、新たな技術開発の進展により変動することがあります。従って、当社としては、その正確性を保証するものではありません。